

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数					
教科名	国語		科目名	論理国語													学 習 内 容							
単位数	3	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →														●				
教科書・副教材・(発行所)																								
① 新論理国語 (三省堂) ② 新論理国語 学習課題ノート (三省堂) ③ 常用漢字ダブルクリア四訂版 (尚文出版)																								
学 習 の 重 点 目 標																								
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																								
評 価 の 基 準																								
知識・技能																								
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施						①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施						①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施											
	主体的に学習に取り組む態度																							
評 価 の 基 準																								
A (十分満足できる状況)																								
B (概ね満足できる状況)																								
B+																								
B-																								
C (努力を要する状況)																								
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。						定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。						定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。						定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					
	思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができる。						探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。						探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。										
応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。						応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。						応用的な問題にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。						真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。											
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
総 時 間 数																				57				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	国語		科目名	文学国語						D	学	進	進	進	進	進	進	進	進	第1学期	「桜の中で、時が重なり合う」平野啓一郎	7
単位数	3	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →						●										
教科書・副教材・(発行所)																						
① 文学国語 (大修館書店) ② 文学国語学習ノート (大修館書店) ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																						
知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度														
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字・リテラス検定についての小テストを実施				①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施													
	評 価 の 基 準																					
知・技	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)																
				B+	B-																	
思・判・表	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。																
	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。																
主体性・態度	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。																
	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。																
振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。																	
総 時 間 数										第2学期		8月～9月		「桔梗君へ」川上未映子 「檸檬」梶井基次郎		★中間考査		12				
										第2学期		10月～11月		「檸檬」梶井基次郎 「待つ」太宰治		★期末考査		14				
										第3学期		12月～1月		「冥途」内田百閒				11				
										第3学期		2月～3月				★期末考査		1				
																★期末考査		1				
																		56				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数								
教科名	地理歴史		科目名	歴史総合																					4月	5月
単位数	2	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →									●	第1学期	第1部 近代化と私たち 1 18世紀の世界とアジア 2 産業革命 3 アヘン戦争と日本 4 日本の開国 5 日本開国期の国際情勢 6 開国後の日本社会 7 市民革命と国民統合 8 明治維新		3 2 2 2							
教科書・副教材・(発行所)															中間考査		1									
① 歴史総合 わたしたちの歴史 日本から世界へ (山川出版) ② ③ ④															9 富国強兵と文明開化 10 日本明治初期の外交 11 大日本帝国憲法の制定 12 日本の産業革命と日清戦争 13 帝国主義 14 日露戦争と韓国併合		2 2 3									
学 習 の 重 点 目 標															第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1 大衆運動の芽ばえ 2 第一次世界大戦		3									
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。															期末考査		1									
評 価 の 基 準															3 第一次世界大戦と日本 4 ロシア革命とその影響 5 社会運動の広がり 6 国際協調 7 アジアの民族運動 8 大量生産・大量消費社会 9 世界恐慌 10 独裁勢力の台頭 11 日本のアジア侵出 12 第二次世界大戦		2 2 2 2									
評 価 の 趣 旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	13 第二次世界大戦と日本 14 第二次世界大戦の終結 15 戦後国際秩序 16 冷戦の始まり 17 日本の戦後改革と日本国憲法 18 日本の独立			3 3 3									
	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容 を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施				①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価 章ごとに振り返りを実施					第3部 グローバル化と私たち 1 第三世界の登場 2 冷戦の固定化と「雪どけ」			3									
知・技	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)				第3学期	3 冷戦の展開 4 55年体制と安保闘争 5 高度経済成長 6 ベトナム戦争とアメリカ 7 経済構造の変化 8 日本の経済大国化 9 アジアの経済成長 10 社会主義の停滞と新自由主義 11 冷戦の終結 12 冷戦後の地域紛争			2 2 2 2									
	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。					13 地域統合 14 現代世界の諸課題 15 日本の諸課題			3 3 3									
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				2月	13 地域統合 14 現代世界の諸課題 15 日本の諸課題		3 3 3										
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。				各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。				各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。					3月	期末考査		1									
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				総 時 間 数		65											
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。																	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	数学		科目名	数学探究																		
単位数	3	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →																
教科書・副教材・(発行所)																						
① 教科書：新編数学A（実教出版） ② 問題集：ラウンドノート数学A（実教出版） ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
① 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ② 家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																						
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度										
評価の趣旨	① 定期考査の出来具合 問題は問題集の内容を中心に作問						① 定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価						① 授業中の態度や意欲を評価									
	② 小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施						② 定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価						② 課題レポートやノートの提出状況を評価									
③						③ グループ活動や発表の内容を評価						③ 定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価										
評 価 の 基 準																						
A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)										
						B+						B-										
						定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。						定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。										定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。
知・技	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。						探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。						探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。									
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。						応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。						応用的な問題にあまり取り組むことができていない。									
思・判・表	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。						真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。									
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができていない。									
主体性・態度																						
総 時 間 数																				73		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数							
教科名	理科		科目名	生物			D	学	進	進	進	文	理	護										
単位数	5	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →																		
教科書・副教材・(発行所)																								
① 高校生物・生物エブリィノート・アクセスノート生物・(実教出版)																								
②																								
③																								
④																								
学 習 の 重 点 目 標																								
自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す																								
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度																	
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施			①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施			第1学期	4月	1章1節 生物の起源と細胞の進化	3	5月	1章2節 遺伝子の変化と進化のしくみ	3	1章3節 生物の系統と進化	4	2章1節 細胞と分子	4	2章2節 生命現象とタンパク質	4	【中間考査】	1
												第2学期	6月		2章3節 代謝	10	7月							
評 価 の 基 準																								
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)																	
				B+			B-																	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり，基本から発展まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストば合計得点が30点未満であり，基本的な知識や概念があまり理解できていない。			第2学期	8月	3章1節 遺伝情報とその発現	11	9月	3章2節 発生と遺伝子発現	11	3章3節 遺伝子を扱う技術	10	【中間考査】	1	
										第3学期	10月	4章1節 動物の反応			11	11月		4章2節 動物の行動	11	4章3節 植物の成長と環境応答	11	【期末考査】	1	
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み，自分の考えを発表したり，適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み，ある程度自分の考えを述べたり，表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。					第3学期	12月	5章1節 個体群と生物群集	12		1月	5章2節 生態系	12	【期末考査】	1			
	発展的な内容も意欲的に学習し，身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。			発展的な内容も学習し，ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。			発展的な内容を学習することができていない。			第3学期	2月													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む，グループ活動においても積極的に発言できている。			真面目に学習に取り組んではいるが，もう少し積極性を要する部分がある。			学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。					第3学期	3月											
	振り返るべき内容をきちんと考え，次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容は考えられているが，次の取り組みに活かすことがあまりできていない。			振り返るべき内容をあまり考えられていない。			総 時 間 数														
																	121							

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数							
教科名	外国語【英語】		科目名	英語コミュニケーションⅡ						D	進	特	進	進	特	特	看	●	第1学期	4月 5月	LESSON6 Edo:A Sustainable Society	13					
単位数	3	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →																					
教科書・副教材・(発行所)												① LANDMARK Fit English Communication Ⅱ (啓林館) ② LANDMARK Fit English Communication Ⅱ Workbook (啓林館) ③ ④															
学 習 の 重 点 目 標												外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。															
知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期				8月 9月				LESSON7 Biodiesel Adventure: From Global to Glocal 中間考査 1							
各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。				ペアワークでの積極的な活動、英作文の仕上がりなどを評価する。				日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストの出来具合により評価を行う。																			
												評 価 の 基 準												第3学期			
A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)																			
知・技				定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。				B+		B-		定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。															
								定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。																	
思・判・表				ペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを表現したり、適切に表現することができている。				ペアワーク活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。				ペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。				第3学期				12月 1月				Optional Lesson 1 期末考査 1			
主体性・態度				予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				第3学期				2月 3月				総 時 間 数 77			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	保健体育		科目名	体育																			
単位数	3	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →																	
教科書・副教材・(発行所)																							
① 現代高等保健体育 (大修館書店) ② Active Sports2024 [総合版] (大修館書店) ③ ④																							
学 習 の 重 点 目 標																							
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																							
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度						評価の趣旨					
①各種の運動ごとに実施する実技テスト(記録)の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合						①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み						①授業中の態度や意欲 ②授業への準備(服装・体操)に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度											
評 価 の 基 準																							
A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)											
						B+			B-														
実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。3学期のみ実技テストと定期考査。						実技テストと新体力テストの合計が55~79点である。3学期のみ実技テストと定期考査。			実技テストと新体力テストの合計が30~54点である。3学期のみ実技テストと定期考査。			実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。3学期のみ実技テストと定期考査。											
知・技						グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。						グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。						グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。					
						応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。						真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					
主体性・態度						運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。						真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					
						振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができていない。					
総 時 間 数																							
																					●	期末考査	82

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看護	学期	学 習 内 容	時数								
教科名	看護			科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 (病態学)						D									第1学期	4月 5月	第1章 腎・泌尿器の基本的知識 I 腎・泌尿器の構造と機能 II 主な症状と病態生理 III 主な検査	5					
単位数	1	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →																						
教科書・副教材・(発行所)												①教科書：2025看護学入門 成人看護Ⅱ 腎・泌尿器疾患患者の看護 ② ③ ④																
学 習 の 重 点 目 標												①腎泌尿器の基礎知識を理解する ②腎泌尿器の主な疾患を理解する ③腎泌尿器疾患の看護を理解する																
知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度																				
評価の趣旨	①定期考査 1学期・・・中間考査80点 2学期・・・中間考査40点 期末考査40点 3学期・・・中間考査80点 ②確認テスト20点 単元毎に実施				①課題の内容 ②グループワーク・発表の内容 探求改題についてGWを実施				①事業中の態度や意欲 ②提出物の内容 事業プリント・ワークプリント・テスト等は指定通りとする ③ふり返り 単元毎に実施する自己評価やふり返り、課題の提出状況(ブレンド配信)				第2学期				8月 9月				第2章 主な疾患とその治療 I 腎臓の主な疾患 II 尿管の主な疾患 III 膀胱の主な疾患 IV 前立腺の主な疾患 V 尿道の主な疾患 VI 膀胱の主な疾患				6			
	評 価 の 基 準																											
知・技	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)																			
					B+		B-																					
思・判・表	定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解ができている				定期考査と確認テストの合計得点が55~79点である		定期考査と確認テストの合計点が30~54である		定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識の理解ができていない				第3学期				10月 11月				第3章 腎・泌尿器看護の基本 I 腎・泌尿器疾患患者の看護の目的 II 腎・泌尿器疾患患者の特徴 III 腎・泌尿器疾患患者の看護の役割 VI 看護の場とその特徴				7			
	主体性・態度	課題に積極的に取り組み、自分の考えを发表或しりわかりやすくまとめることができる				課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、伝えることができる				課題にあまり取り組むことができない				第3学期				12月 1月				第4章 腎・泌尿器疾患患者の看護 I 経過別看護 II 在宅看護・地域との連携 III 主な症状と看護 IV 検査・治療・処置に伴う看護 V 主な疾患患者の看護 VI 慢性腎不全患者看護の事例				5		
主体性・態度		グループワークに積極的に取り組み、自分の考えを发表或しりわかりやすくまとめることができる				グループワークに取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、伝えることができる				グループワークにあまり取り組むことができない																		
	主体性・態度	予習・復習に取り組み、授業にも積極的に発言し参加できる				予習・復習に取り組み、授業に参加できている				予習・復習に取り組み、授業に参加できていない																		
主体性・態度		毎時間にふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現することができる				授業の内容についてふり返りができている				授業の内容についてふり返りができていない																		
	総 時 間 数																						29					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数				
教科名	看護		科目名	在宅看護																					
単位数	1	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →																			
教科書・副教材・(発行所)																									
① 地域・在宅看護の基盤 (医学書院)										<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px;">②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> </tr> </table>										②		③		④	
②																									
③																									
④																									
学 習 の 重 点 目 標																									
看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、在宅看護の実践に必要な資質・能力を次の通りに育成することを目指す。 (1) 在宅看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 在宅看護に関する多様な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 在宅看護の実践を自ら学び、在宅療養者の健康の保持増進に主体的・共同的に取り組む態度を養う。																									
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				第1学期	4月	人々の暮らしと地域・看護	2												
①定期考査 1 学期・中間考査80点 2 学期・中間考査40点 期末考査40点 3 学期・期末考査80点 ②確認テスト 20点 前回の授業内容について出題			①課題 (ワークプリント) の内容 単元ごとに授業内容に関する課題 (ワークシート) を実施・提出 ②グループワーク・発表の内容探求課題についてグループワーク			①授業の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント、ワークシートはファイルに綴じる ③ふり返り 定期考査後に実施する自己評価をふり返り、課題の提出状況を評価					5月	・人々の暮らしの理解 ・地域・在宅看護の役割													
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)				第2学期	6月	暮らしの基盤としての地域の理解	1													
定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解ができている。			定期考査と確認テストの合計得点が55~79点である。		定期考査と確認テストの合計得点が30~54点である。					7月	・暮らしと地域 ・暮らしと地域を理解するための考え方 ・地域包括システムと地域共生社会 (演習・ワークシート)														
知・技	B+		B-		定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				第3学期	8月	地域社会による多様性 ・家族の理解 (演習・ワークシート)	7													
	定期考査と確認テストの合計得点が55~79点である。		定期考査と確認テストの合計得点が30~54点である。							9月	中間考査	1													
思・判・表	B+		B-		定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				第3学期	10月	地域社会による多様性 ・地域に暮らす対象者の理解と看護 (演習・ワークシート)	8													
	定期考査と確認テストの合計得点が55~79点である。		定期考査と確認テストの合計得点が30~54点である。							11月	地域における暮らしを考える ・暮らしを支える看護 ・暮らしの環境を整える看護 期末考査	1													
主体性・態度	B+		B-		定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				第3学期	12月	地域における暮らしを考える ・広がる看護の対象と提供方法 ・地域における家族への看護 ・地域におけるライフステージに応じた看護	5													
	定期考査と確認テストの合計得点が55~79点である。		定期考査と確認テストの合計得点が30~54点である。							1月	・地域での暮らしにおけるリスクの理解 ・地域での暮らしにおける災害対策 期末考査	1													
予習・復習に取り組むことができず、授業にも参加できていない。										第3学期	2月														
毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切なないよう表現することができている。											3月														
総 時 間 数										27															

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看護	学期	学 習 内 容	時数			
教科名	看護			科目名	成人看護					D									●	第1学期	血液・造血器疾患患者の看護 第1章 血液・造血器疾患の基本的知識 第2章 主な疾患とその治療 脳・神経疾患患者の看護	8	
単位数	4	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →																	
教科書・副教材・(発行所)																							
① 新看護学10 成人看護 [2] 血液・造血器 内分泌・代謝 脳・神経 運動器																							
②																							
③																							
④																							
学 習 の 重 点 目 標																							
成人期にある対象の生活、保健および疾病について理解させ、成人看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。																							
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度																	
評価の趣旨	①定期考査 1学期…中間考査80点 2学期…中間考査40点 期末考査40点 3学期…期末考査80点 ②確認テスト20点 前回の授業内容について出題			①課題の内容 単元ごとに授業内容に関する 1課題を実施・提出 ②グループワーク・発表の内容 探究課題についてグループ1 1ワークを実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業ノート、ファイル、課題は指 定通りに綴じる。 授業ノート、ファイルの提出。 ③ふり返り 定期考査後に行う自己評価やふり 返り、課題の提出状況を評価																
	評 価 の 基 準																						
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)																	
			B+			B-																	
知・技	定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解することができている。			定期考査と確認テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と確認テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。													
	思・判・表	課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすくまとめることができる。			課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、まとめることができる。			課題にあまり取り組むことができていない。															
主体性・態度		グループワークに積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすく伝えることができる。			グループワークに取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、伝えることができる。			グループワークにあまり取り組むことができていない。															
	予習・復習に取り組み、授業にも積極的に発言し参加できている。提出物を毎回期日までに提出する。			予習・復習に取り組み、授業にも参加できている。促すと提出物を出すことができる。			グループワークにあまり取り組むことができていない。提出物を出すことができない。																
毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現することができている。			授業の内容についてふり返りができている。			授業の内容についてふり返りができていない。																	
総 時 間 数																							
																				4月	血液・造血器疾患患者の看護 第1章 血液・造血器疾患の基本的知識 第2章 主な疾患とその治療 脳・神経疾患患者の看護	8	
																				5月	運動器疾患患者の看護 第1章 基本的知識 中間考査	2 5 1	
																				6月	血液・造血器疾患患者の看護 第3章 血液・造血器疾患看護の基本 第4章 血液・造血器疾患患者の看護 脳・神経疾患患者の看護	2	
																				7月	運動器疾患患者の看護 第1章 脳・神経の基本的知識	1 2	
																				8月	血液・造血器疾患患者の看護 内分泌・代謝疾患患者の看護 第1章 内分泌・代謝疾患の基本的知識 脳・神経疾患患者の看護	4 6 6	
																				9月	運動器疾患患者の看護 第1章 基本的知識 中間考査	6 6 1	
																				10月	内分泌・代謝疾患患者の看護 第2章 主な疾患とその治療 第3章 内分泌・代謝疾患看護の基本 脳・神経疾患患者の看護	12	
																				11月	運動器疾患患者の看護 第1章 基本的知識 期末考査	8 7 1	
																				12月	内分泌・代謝疾患患者の看護 第4章 内分泌・代謝疾患患者の看護 脳・神経疾患患者の看護 運動器疾患患者の看護	8 5 6	
																				1月	第1章 基本的知識 第2章 主な疾患とその治療 期末考査	1	
																				2月			
																				3月			
																				総 時 間 数		92	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学	学 習 内 容		時		
教科名	看護			科目名	小児看護					D	進	特	進	進	特	特	看	学			時		
単位数	1	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →																	
教科書・副教材・(発行所)																							
① 看護各入門12 母子看護 (メジカルフレンド社)																							
②																							
③																							
④																							
学 習 の 重 点 目 標																							
看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、小児看護の実践に必要な資質・能力の育成をめざす。																							
(1)小児看護について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身につけるようにする。																							
(2)小児看護に関する多様な課題を発見し、看護倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。																							
(3)よりよい看護実践を目指し自ら学び、小児の健康保持増進に主体的・協働的に取り組む態度を養う。																							
知識・技能							思考・判断・表現							主体的に学習に取り組む態度									
評価の趣旨	①定期考査 1学期…中間考査80点 2学期…中間考査40点 期末考査40点 3学期…期末考査80点							①課題 (ワークプリント) の内容 単元ごとに授業内容に関する課題 (ワークプリント) を実施・提出							①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント等は指定通り ファイルに綴じる ③ふり返り 定期考査後に実施する自己評価やふり返り、課題の提出状況を評価								
	②確認テスト20点 前回までの授業内容について出題							②グループワーク・発表の内容 探究課題についてグループワークを実施															
評 価 の 基 準																							
A (十分満足できる状況)							B (概ね満足できる状況)							C (努力を要する状況)									
							B+			B-													
知・技	定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解ができている。							定期考査と確認テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と確認テストの合計得点が30～54点である。				定期考査と確認テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。								
思・判・表	課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすくまとめることができる。							課題に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、まとめることができる。							課題にあまり取り組むことができていない。								
	グループワークに積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすく伝えることができる。							グループワークに取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、伝えることができる。							グループワークにあまり取り組むことができていない。								
主体性・態度	予習・復習に取り組み、授業にも積極的に発言し参加できている。							予習・復習に取り組み、授業に参加できている。							予習・復習に取り組むことができず、授業への参加も積極的ではない。								
	毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現できている。							授業の内容についてふり返りができている。							授業の内容についてふり返りができていない。								
総 時 間 数																							
																			27				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学	学 習 内 容		時	
教科名	看護			科目名	母性看護					D												
単位数	1	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →																
教科書・副教材・(発行所)													学	学 習 内 容		時						
① 看護学入門12 母子看護 母性の看護 (メヂカルフレンド社) ② ③ ④														第1学期	4月 5月		第1章 母性看護概論	1				
													6月 7月		中間考査	1						
学 習 の 重 点 目 標													学	6月 7月	第2章 正常な妊婦、産婦、褥婦および新生児の理解	5						
看護の見え方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して母性看護の実践に必要な資材・能力を旨す。 (1) 母性看護の実践について体系的・統計的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 母性看護の多様な課題を発見し、看護の職業論理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) よりよい母性看護の実践を目指して学び、母性の健康保持増進に主体的、協働的に取り組む態度を養う。														第2学期	8月 9月	第2章 正常な妊婦、産婦、褥婦および新生児の理解	8					
評価の趣旨 ①定期考査 1・2学期…中間考査40点 期末考査40点 3学期…期末考査80点 ②確認テスト20点 前回の授業内容について出題													10月 11月		中間考査	1						
知識・技能 ①課題の内容 単元ごとに授業内容に関する課題を実施・提出 ②グループワーク・発表の内容 探究課題についてグループワークを実施													10月 11月	第3章 妊婦、産婦、褥婦および新生児の看護	5							
主体的に学習に取り組む態度 ①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業ノート、ファイル、課題は指定通りに綴じる。 授業ノート、ファイルの提出。 ③ふり返り 定期考査後に行う自己評価やふり返り、課題の提出状況を評価													第3学期	12月 1月	期末考査	1						
評価の基準 A (十分満足できる状況) B (概ね満足できる状況) B+ B- C (努力を要する状況)														2月 3月	第4章 妊婦、産婦、褥婦および新生児にみられる異常	5						
知・技 定期考査と確認テストの合計得点が80点以上であり、基本的な知識の理解することができている。														12月 1月	第4章 妊婦、産婦、褥婦および新生児にみられる異常	5						
思・判・表 課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、わかりやすくまとめることができる。														2月 3月	第4章 妊婦、産婦、褥婦および新生児にみられる異常	1						
主体性・態度 予習・復習に積極的に取り組み、授業にも積極的に発言し参加できている。提出物を毎回期日までに提出する。														2月 3月	第4章 妊婦、産婦、褥婦および新生児にみられる異常	1						
毎時間ふり返りができ、授業のポイントについて適切な内容を表現することができている。														2月 3月	第4章 妊婦、産婦、褥婦および新生児にみられる異常	1						
													総 時 間 数		29							

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	看護		科目名	精神看護																第1学期	4月	
単位数	1	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →						第2学期	6月	7月	時数							
教科書・副教材・(発行所)																						
①教科書：2026 看護学入門 精神看護 (メヂカルフレンド社)																						
②																						
③																						
④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
①精神看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。																						
②精神看護に関する多様な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。																						
③精神看護について、よりよい看護の実践を目指して自ら学び、人々の心身の健康の保持増進に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。																						
知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問					①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価					①授業中の態度や意欲を評価					第4章 主な精神障害者の治療					6	
	②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施					②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価					②課題レポートや問題集の提出状況を評価					第5章 精神障害者の看護					7	
					③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価					③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価					第6章 精神保健福祉の変遷					7		
															第7章 精神保健福祉対策					7		
評 価 の 基 準																						
A (十分満足できる状況)					B (概ね満足できる状況)					C (努力を要する状況)												
					B+		B-															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。					定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					第8章 精神的健康の保持増進					6	
																第9章 精神障害者の治療					6	
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現できている。					探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現できている。					探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。					第10章 精神保健福祉の変遷					7	
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。					応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。					応用的な問題にあまり取り組むことができていない。					第11章 精神保健福祉対策					7	
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。					真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					第12章 精神保健福祉対策					7	
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。					振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。					振り返るべき内容をあまり考えることができていない。					第13章 精神保健福祉対策					7	
総 時 間 数																			29			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	看護		科目名	看護臨地実習 (成人)																
単位数	2	学科	看護科	学年	3年	該当するコース・科 →														
教科書・副教材・(発行所)																				
学 習 の 重 点 目 標																				
1) 臨地における看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 2) 臨地における看護に関する多様な課題を発見し、看護の職業倫理を踏まえて解決策を探究し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。 3) 臨地における看護について、よりよい看護の実践を目指して自ら学び、人々の安全と安楽を守り、健康の保持増進と生活の質の向上に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。																				
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	(1) 臨床指導者評価 臨床指導者に評価を依頼する。評価表の項目について3段階で評価を行い点数化する(45点) (2) 教員評価 実習記録の内容を評価する。評価表の項目について3段階評価し点数化する(50点) (3) 記録提出点 記録の提出状況を評価する(5点)			(1) 教員評価 実習記録と実習態度から以下の達成度を評価する(実習を終えて、No.1感想、実習態度) ①良いコミュニケーションを取るための原則を理解する ②患者との意思疎通を図る ③指導者や看護師とのコミュニケーション方法を理解する ④受け持ち患者との関わりをふり返りまとめることができる			(1) 教員評価 実習記録と実習態度から以下の達成度を評価する (No.1、No.2、事前・事後学習、実習態度) ①患者にとって最適な環境を理解する ②患者の日常生活援助を理解する ③報告・連絡・相談 ④目標・計画 ⑤態度													
	評 価 の 基 準																			
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)													
				B+		B-														
知・技	評価点の合計が80点以上である。病院の機能と看護の役割が理解できる。また、看護の対象の身体的・精神的・社会的側面を理解し、看護上の問題を考えることができる。			評価点の合計が55～79点。		評価点の合計が30～54点。	評価点の合計が30点未満である。病院の機能と看護の役割が理解が不十分である。また、看護の対象の身体的・精神的・社会的側面を理解し、看護上の問題を考えることができない。													
	思・判・表	看護におけるコミュニケーション技術を理解することができる。(挨拶、言葉遣い、態度、身だしなみ、笑顔を心掛ける。患者の意思を尊重し、傾聴できる)			指導があれば看護におけるコミュニケーション技術を理解することができる。			看護におけるコミュニケーション技術を理解が不十分である。												
指導者や看護師とのコミュニケーション方法を理解することができる。(報告・連絡・相談)			指導があれば指導者や看護師とのコミュニケーション方法を理解することができる。			指導を受けても指導者や看護師とのコミュニケーション方法を理解が不十分である。														
主体性・態度	療養の場における日常生活の援助を理解できる。(日常生活の実施・見学)			指導があれば療養の場における日常生活の援助を理解できる。			指導を受けても療養の場における日常生活の援助を理解できない。													
	指導者や教員に報告・連絡・相談を行い、実習に積極的に実習できる。また、実習目標や計画に具体性がある。			指導者や教員に報告・連絡・相談を行い、実習に取り組んでいる。また、指導があれば実習目標や計画に具体性がある。			指導者や教員に報告・連絡・相談をすることができない。また、指導を受けても実習目標や計画に具体性がない。													
総 時 間 数																		70		